



コラボアート(健康・医療)

Wu InnoVations 代表取締役社長
株式会社 板倉硝子 代表取締役

板倉 正悟

profile

家業の板倉硝子を継ぎ、近年は別会社である Wu InnoVations も運営。その2社を生業としながら、熊本県での水源保全や さいたま市の政策提言などの活動にも取り組む。

事業：[板倉硝子]断熱・防音ガラスの販売・施工 [Wu InnoVations]医療健康系アパレル事業
所属：さいたま商工会議所青年部
趣味：音楽

板倉さんは多様な地域活動に参画していますね！

そうですね。例えば、さいたま商工会議所青年部では「眠りのまちさいたま」というブランディング政策を提言しました。過去の活動で培った視点を活かした他、ヒップホップが好きな私の発案からクラブで発表会を行うなど、私ならではの貢献ができているかなと。

2026年のテーマ「揺らぎ」について思うことは？

人生は、揺らぎがあるからこそ面白くなるのではないのでしょうか。模索しないと自分の視野は広がりませんから。しかし、そこで重要なのが「軸」だと思います。自分の中に動かない信念があれば、揺らぎは私たちを大きく成長させてくれると思います。

熊本県でも何か取り組まれているのだとか？

兄が運営する peace organic のプロジェクトの中で、オーガニック商品を扱っています。その商品作りできれいな水が採れる熊本県のある町と出合いました。お世話になっているこの町を元気にしたい思いも強く、水質保全活動を始めることになりました。

仕事もその他の活動も、全力投球ですね！

仕事も真剣ですが、さいたま市や熊本県での活動は仲間との遊びの延長のような気持ちで楽しんでいます。一人でできることもあります、仲間とタッグを組めば、実現できることはどんどん広がりますね。今後も、“縁”と“感謝”を大切にしていきます。

コラボアート(健康・医療)

株式会社リード・サマー 代表取締役／薬剤師 佃 勇也



profile

薬剤研究の経験を活かして2020年に独立し、つくだ薬局を東浦和にオープン。「医療のファーストタッチは薬局へ」をキャッチコピーに、人との繋がりを大切にしたい薬局を目指す。

事業：店頭・オンライン・施設・在宅訪問を含めた 処方せん・服薬指導 など

所属：さいたま市商工会議所青年部

趣味：休日に二人の子どもと遊ぶ時間

日々どんな思いで薬局を運営していますか？

「医療の窓口」となるためのサービスを展開しています。話題の医療費高騰や地方の医者不足も、薬局で対応できることを増やせば解決するかもしれません。そのためにも「まず薬局に行こう」と思ってもらえる場所を目指しています。

Hikariba芸術祭2026で叶えたいことは？

子どもや若者に向け、薬との向き合い方を伝えたいと考えています。オーバードーズや「とりあえずこの薬を飲んでおこう」といった危うい行動は、薬の知識を正しく学び、正しく相棒にすることで改善するはず。そんなヒントを届けたいです。

Hikariba芸術祭へ参加したきっかけは？

彦坂さんと出会ったのは、キッズ調剤薬局を出展した商工会議所のイベントです。今後は芸術を通じて医療・健康の啓発にも取り組むと聞きました。こういった発信の場は貴重です。私もさまざまな形で業界の意義を伝えたいと、参加を決めました。

今後のお仕事の目標を教えてください。

薬剤師という職業が社会にどう貢献できるのか。その可能性を今後も模索していきます。例えば、現在進めているのは、就労支援B型などの福祉関係との連携です。医療の道を志す人も増やしなから、医療をより身近な存在にしていきたいです。

コラボアート(健康・医療)

YASUKO STAYLE PILATES

代表

宮前 康子

profile

国立音楽大学卒業。腰痛ケアをきっかけにピラティスと出会い、ライセンスを取得。44歳で生活習慣改善指導を受け「人は何歳からでも変わる」と確信し、同年パーソナル指導へ活動の軸を移す。

事業：ピラティスのパーソナルレッスン、トレーナー育成、健康講座の講師 など

所属：さいたま市大宮倫理法人会

趣味：趣味もピラティス！ アロマを楽しむバスタイムも至福の時

お仕事の醍醐味を教えてください。

ピラティスを通じて心も体も前向きになった方々から、「仕事が捗るようになった」といった変化の声や「ありがとう」と感謝の言葉をもらえるのが嬉しいです。皆さんの喜びが私のモチベーションにもなり、続けてきて良かったと心から感じます。

Hikariba芸術祭へ参加したきっかけは？

実は音大出身で、音楽もアートも大好きなんです。昨年の芸術祭では知人の川越ますみさんも活躍しており、私もぜひお力添えできればと。ピラティスなどの運動は決して難しいものではなく、簡単に取り入れられるのだと多くの人に伝えたいです。

2026年のテーマ「揺らぎ」について思うことは？

ピラティスを指導していると、力を抜くのが苦手な人が多いと感じます。運動には「頑張る」というイメージが強いかもしれませんが。でも実はスイッチを切り換えて「ゆらゆら」とリラックスした状態で行うことが大事。だからこそ体が整うんです。

今後のお仕事の目標を教えてください。

今年は、私にとっても挑戦の一年です。国際ライセンスのマスタートレーナーを取得するため勉強中です。今後は講師の仕事を中心にトレーナーを育成する立場になり、ピラティスを一緒に広げる仲間を増やしていきたいと考えています！

コラボアート(健康・医療)

温美活サロン Rento.co

代表
山添 名保



profile

印刷機器メーカーを経て、アロマトリートメントのセラピストとして独立。持病や更年期の不調をきっかけによもぎ蒸しと出会い、“更年期の専門家”として不調に悩む女性を支援する。

事業：よもぎ蒸し、アロマトリートメント などの施術

所属：BNI

趣味：猫と戯れる時間、音楽を聴きながらのドライブ(MAN WITH A MISSIONのファンです!)

セラピストとしての醍醐味を教えてください。

公式サイトやSNSなどに書かれた“ゆるまる”という言葉にハッとして来店される方も多いです。サロンのケアでは体だけでなく心もゆるまるのか、ケア中にふとお悩みを打ち明けてくれる人もいて。心身ともに軽くなって、笑顔でお帰りになる姿が嬉しいです。

2025年のHikariba芸術祭はどうでしたか？

子どもたちが思う存分“本物の音楽やアート”に触れられる非常に素敵なイベントでした。こういう経験って、大人になっても記憶に色濃く残るんですよね。私も息子も音楽や絵が大好きなので、息子が小さな頃にあったら良かったなあと思ってしまう。

2026年のテーマ「揺らぎ」について思うことは？

更年期はつらくて苦しいものと思われがちですが、実はライフサイクルの転換期で、“ゆらぎ世代”とも呼ばれるんです。周りに揶揄されて良いものではなく、決して怖いものでもないことを伝えながら、大切な時期を穏やかに過ごせるように支えたいです。

2026年のHikariba芸術祭、楽しみなことは？

今年は運営メンバーの他、「繋ぐアート」にも参加します。私はお子様連れのお母様方に、更年期を迎えるための正しい知識や心持ちを伝えたいと考えています。こういった私の思いがアーティストとのコラボでどんなアートになるのか、今から楽しみです！